

時差出勤、休憩時間の時差化による3密軽減

製造



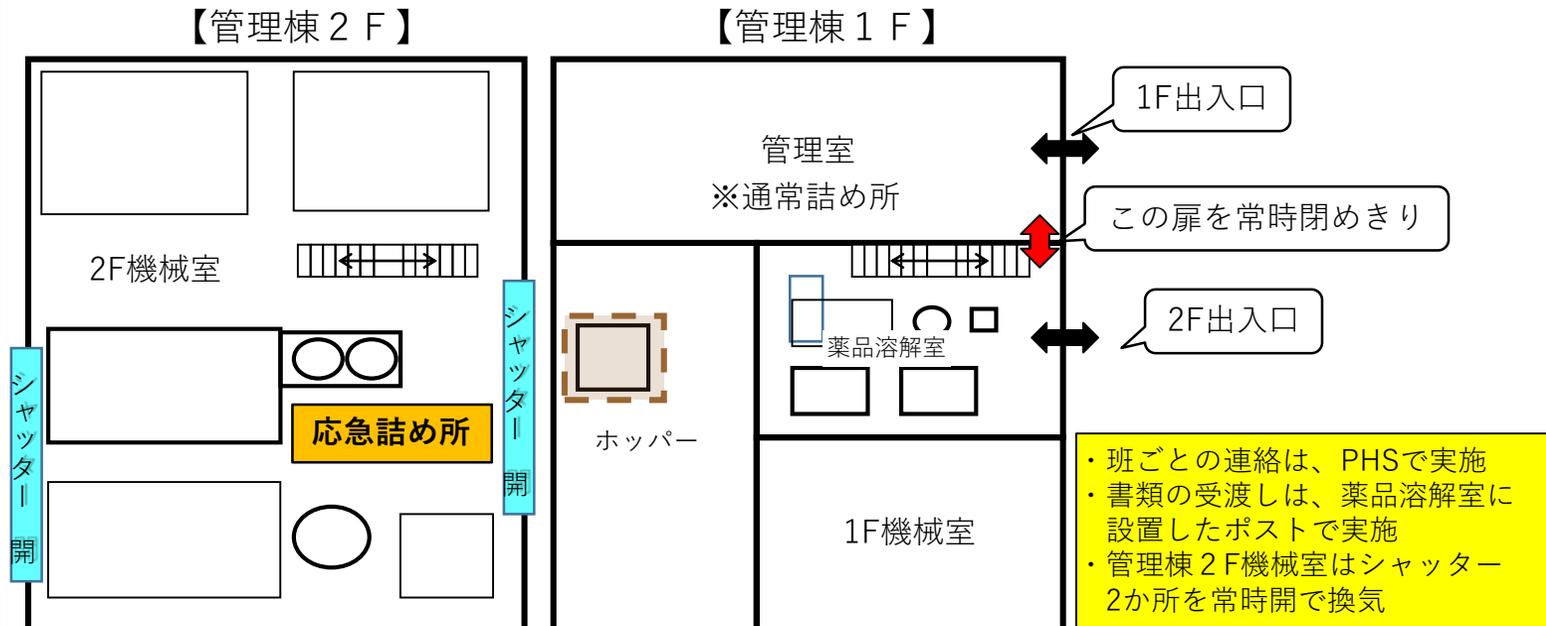
①時差出勤による出勤人員の分散

②休憩時間の時差化(事例)

10:00⇒A職場、10:10⇒B職場、10:20⇒C職場

による休憩場所の3密軽減

準直:人員分散でのウイルス蔓延防止



【リスク低減策(例:排水処理業務)】

設備点検メンバーを2班に分け
2F機械室に応急的に詰め所を
設け分散配置。

班同士での接触を無くすことで
片方の班に感染者が出たとしても
業務継続できるようにする

- ①出入口を分けて接触リスク低減
- ②点検設備を班毎で分類

会議室での3密回避、飛沫防止ボード設置、換気アナウンス



- ・ 座席間の確保
- ・ 表示して意識付け



飛散防止ボードの設置

①会議室

- ・ 会議時に座席の間隔を確保
- ・ 全会議室に表示し意識付け

②デスク

- ・ 飛沫防止の為、内製飛散防止ボードの設置

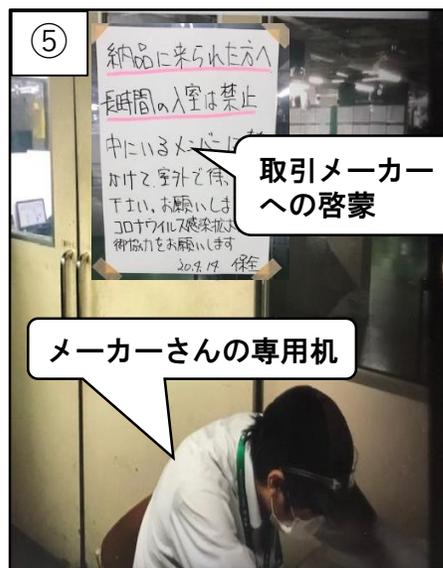


- ## ③席の対面・左右につい立てを設置して 飛沫感染を防止



- ## ④詰め所を密閉空間にしないように 休憩時間に換気アナウンス

※9:55~10:05・14:55~15:05



- ## ⑤納品メーカー等(県内外含め)詰め所と 納品場を隔離

※コロナウィルス感染防止に御協力をお願い

飛沫防止カーテンの取り付け

休憩所 飛沫防止カーテン取付



休憩所での対面方向に飛沫を防止する為
につい立てとしてサランラップを利用し取
付け、飛沫防止壁として利用
(定期的な交換 交換頻度:1回/1W)

監督者席 飛沫防止カーテン取付



監督者席で常に座ってPC作業している
監督者の飛沫を防止する為につい立てと
してサランラップを利用し取付け、飛沫防
止壁として利用
(定期的な交換 交換頻度:1回/1W)

ヘルメット内蔵フェイスガードによる飛沫拡散防止

設備修繕における2人作業の飛沫防止対策

フェイスガード付きヘルメット（収納時）



フェイスガード付きヘルメット（使用時）



設備修繕で2人作業になる場合に
ヘルメットに内蔵されているフェイスガードを
降ろすことで飛沫の拡散防止を図っている

フェイスシールドフレームの作製



移動の多い投入者と監督者へ
配布し、使用している



4カ所の突起部にOHPシート
に穴を開けた部分と結合



広範囲移動者の飛沫拡散防止対策

投入者や監督者は構内を長い広範囲に移動するため拡散しやすいため、フェイスシールドを着用。

3Dプリンターでフェイスシールドフレームを製作し、市販のOHPシートを使い、フェイスシールドを製作しました。

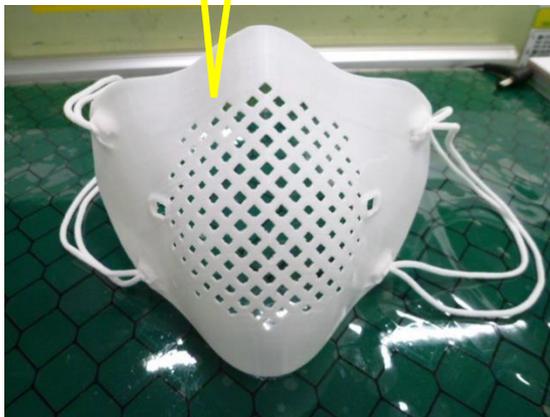
帽子の上からでも装着できるようになっています。

樹脂製マスクの作製



ライン内

ライン内で密接する工程にて
樹脂マスクを着用し、飛沫拡
散防止を実施



マスクの表面



マスクの裏面



3Dプリンターで作成

マスク不足で技能員が密接して拡散の危険があるため3Dプリンターで樹脂でマスクを製作。
マスク内に不織紙を挟み、マスクとして使用。
密接している工程内で使用中。

食堂への仕切り板設置と3密回避アナウンスの実施



食堂での3密対策

一人ひとりに前・左右の仕切り板を付け、飛沫拡散防止を実施。

また、テレビモニターで会話の自粛・食事が終わったら速やかに退席することをアナウンス実施。